

体験とつながり生かすリーダーへの期待

子ども会育成連絡協議会金田支部主催の「リーダー研修会」が11月12日から2日間、ふれあい塾で行われました。27人の小中学生が地域も学年も違う6つの班に分かれ、創作活動や棒焼きパン作り、マジックショーの観賞などを体験。参加者はすぐに打ち解けた仲間と協力し、日頃できない貴重な活動に意欲的に取り組みました。



↑金田農協婦人部4人の指導で「かごバッグ作り」を体験、約5時間で完成しました。

↓毎日の分団登校で下級生のお世話をしている上野小6年の分団長と渡邊校長。



上野小が交通安全で最高賞を受賞

「交通安全県民大会」が11月9日に福岡市で行われ、上野小が最高賞となる「九州交通安全協会長表彰」を受賞。分団登下校やPTAによるあいさつ運動、地域ぐるみの交通安全指導などが高く評価されました。渡邊洋子校長は「ほぼ全員が遅刻せず毎日安全に通学できている。今後も地域と一体となり子どもの安全を守りたい」と話しました。

格別なつきたての味を親子で楽しむ

方城児童センター主催の「親子もちつき大会」が12月4日に行われ、約120人の親子が参加しました。あいにくの雨により屋内での開催でしたが、参加者数は今年の約1.5倍増と大好評。子どもたちが手がけたホカホカのお餅は町食生活改推進会の4人がきなこ餅にしてふるまい、自分でついた格別な味を参加者全員で楽しみました。



↑「1・2・3」という元気な掛け声とともに、テンポよくキネを下ろす子どもたち。

↓各クラス1位には特産米とレーザーで加工されたアクリルの盾が贈られました。



ラジコンカー選手権で福智の風土をPR

九州震災復興電動ラジコンコントロールカー選手権の「福智町 RC JAM 2016」が11月12日から2日間、金田体育館で開催されました。全国から延べ140人が操作技術とタイムを競う5クラスの競技に出場。ものづくりのまちをPRする福智の特設サーキットコースで、電動自動車模型が時速70キロで駆け抜ける迫力の熱戦が展開されました。

↓毎年家族連れなどに大好評の福引き、山積みだった景品が見る見るうちに交換されていきました。



恒例の招福行事に2千人来場

金田恵比須神社奉賛会主催の「金田えびす祭」が、12月2日から3日にかけて金田菅原神社境内で行われました。寒さも和らいだ今年は、昨年の2倍となる約2000人が来場。毎年好評の農産物の詰め合わせなどが当たる「福引き」で運試しをする家族連れや地元企業の社員などで終始にぎわいました。家内安全や商売繁盛を祈願する「打ち込み」の威勢の良い掛け声や手締めめの音が絶えず場内に響きわたり、師走の地域の招福行事を盛り上げていました。

子どもの力を信じ寄り添う大切さ学ぶ

「PTA連合会教育講演会・児童虐待防止講演会」が11月22日に地域交流センターで行われ、保護者や教育関係者など約200人が参加しました。講師は、困難を抱えた子どもをファミリーホームで支援している土井高德氏。安心できる生活の中で子どもの力を信じ、良いところを褒めて寄り添うなど、温かい支援の大切さを伝えました。



↑困難を抱えた子どもの支援で全国的に注目されている土井ホーム代表の土井氏。

↓下田川ライオンズクラブが提供したピブスをつけ、いっせいに駆け出すランナー。



ちびっ子ランナーが河川敷で力走

町子ども会育成連絡協議会主催の「ふれあいマラソン大会」が、11月20日に彦山川・中元寺川合流点河川敷で行われました。町内の小中学生143人が学年や男女別の8部門に分かれ、0.6km～3kmのコースを力走。寒空の下、最後まで諦めずに懸命な走りを見せる子どもたちに、保護者や観客から温かい声援と拍手が送られていました。